



あなたも考えてみよう 暮らしの満足度（県民意識調査）

佐賀県は、暮らしの実感や県政への要望に関する県民意識調査の結果をまとめた。日常生活に満足している人は7割を超え、住んでいる地域に愛着を持つと8割以上が回答した。医療や子育ての分野で県の取り組みを高く評価する一方、公共交通機関の利便性や商工業の振興は不満に感じる割合が高くなった。

調査は4年に1回実施し、2019年度からの新しい県総合計画の策定を含め、今後の県政運営の基礎資料にする。18歳以上が対象で、選挙人名簿から3千人を無作為抽出して5〜6月に郵送でアンケートを行い、1396人から回答を得た。回答率は46・5％。

◎記事から読み取ろう

○調査についてまとめよう

- ・調査対象と人数…
- ・回答数（回答率）…
- ・調査時期

# 暮らしに満足7割

■県の取り組みへの満足度

	満足派 (%)	不満派 (%)
災害への備え	24.4	23.6
安全安心	44.6	15.2
出産・子育て	45.8	14.7
教育	37.2	16.4
福祉	26.8	30.2
健康・医療	47.7	19.1
環境保全	30.9	18.3
農林水産業	25.5	25.1
商工業など	11.4	41.4
県のイメージ	16.7	40.8
文化・芸術	20.5	34.7
スポーツ	27.4	30.6
住みやすさ	37.7	19.2
公共交通機関	17.1	59.4
国際化	13.3	38.7

調査結果で日常生活に「満足している」と答えた割合は合わせて72・8％になった。住んでいる地域が「好き」「まあ好き」と回答したのは合計で83・0％。佐賀県を県外に誇れるか」と療や出産・子育て、防犯などの質問には、肯定した割合が57・7％だった。

県の取り組みに関しては15項目に分けて満足度を尋ね、8項目については「満足」と答えた割合が不満を尋ねた割合を上回った。特に、健康・医療や出産・子育て、防犯などの質問には、肯定した割合が57・7％だった。

## 県民意識調査

○調査結果についてまとめよう。

あなたは？

- ・日常生活に満足している… %
- ・住んでいる地域が好き… %
- ・佐賀県を誇れる… %

○満足派が多い8項目 (%)

- ・ ( ) (%)
- ・ ( ) (%)
- ・ ( ) (%)
- ・ ( ) (%)

## 公共交通機関に不満も

どの暮らしの安全安心は4割以上が満足と答えた。

一方、公共交通機関に対して「不満」とする回答は59・4％に上り、改善を求める傾向を示した。公共交通関係での施策の要望に関する質問（複数回答）では「交通が不便な地域での移動手段の確保」と答えた割合が最高の74・1％で、次いで「路線バスや鉄道などの利便性の向上」が49・4％だった。商工業・サービス業の振興や県のイメージアップについても、それぞれ不満とする回答が41・4％、40・8％で、満足とする回答を大きく上回った。

調査結果は県のウェブサイトなどで公表している。

（山本礼史）

（佐賀新聞 2018.8.30 付）

広げよう・深めよう

○不満派が高い7項目について、どのようにとらえていると思いますか。3項目を選んで、記事の公共交通機関の説明を参考に具体的に考えてみよう。

- ・ ( ) の項目…
- ・ ( ) の項目…
- ・ ( ) の項目…

◎自分の考えをまとめよう

\*友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

○佐賀県について、自分が考えていることをまとめてみよう。

## 県民意識調査質問内容

1. お住まいの地域が好きですか
  - 1 好き      2 まあ好き      3 どちらともいえない
  - 4 あまり好きではない      5 好きではない
2. お住まいの地域や佐賀県のことを誇れますか
  - 1 誇れる      2 まあ誇れる      3 どちらともいえない
  - 4 あまり誇れない      5 誇れない
3. 日常生活での満足度
  - 1 満足している      2 まあ満足している
  - 3 どちらともいえない      4 あまり満足していない
  - 5 満足していない
4. お住まいの地域に住み続けたいですか
  - 1 思う      2 まあ思う      3 どちらともいえない
  - 4 あまり思わない      5 思わない
5. 地域づくりの取組みが進んでいますか
  - 1 進んでいる      2 まあ進んでいる      3 わからない
  - 4 あまり進んでいない      5 進んでいない
6. 地域づくりの取組みに必要だと思うこと
  - 1 活動を主導するリーダー
  - 2 一緒に活動する仲間
  - 3 若年層の参加
  - 4 行動しようという住民の意識
  - 5 資金面の支援
  - 6 専門家からの助言や助力
  - 7 行政（市町・県・国）の協力
  - 8 学校、企業、NPOなどの協力
  - 9 その他（      ）
7. 新しい視点で取り組んだほうがよいと思うこと
  - 1 景観や温泉、伝統建築物などの観光資源
  - 2 地域の祭り、文化的、歴史的なもの
  - 3 佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品
  - 4 道路、街なみ、公園などの社会資本
  - 5 地場産業を活性化するための取組み
  - 6 町おこしやイベントなどソフト事業
  - 7 その他（      ）
  - 8 特になし
8. 県政運営に特に必要だと思うこと
  - 1 情報公開のさらなる推進（透明性）
  - 2 現場の声を大切にする（現場主義）
  - 3 本来の目的を忘れない（ミッション）
  - 4 必要な手順をきちんと踏まえる（プロセス）
  - 5 その他（      ）
9. 県の取組みへの満足度（15 分野）
  - ① 地震や台風などの災害への備えがある
  - ② 防犯、食品、消費者保護など日常生活に安心感がある
  - ③ 安心して子どもを産み育てることができる
  - ④ 子どもの確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれている
  - ⑤ 高齢者や障害者などを含んだすべての人がくらしやすい
  - ⑥ 健康的な生活がおくれ、医療体制も整っている
  - ⑦ 環境（地球、自然、生活など）を守る取組みが進んでいる
  - ⑧ 農林水産業に活力がある
  - ⑨ 商工業・サービス業に活力がある
  - ⑩ 佐賀県が国内外に良いイメージで広く知られている
  - ⑪ 文化や芸術に親しめる環境が整っている
  - ⑫ スポーツを楽しめる環境が整っている
  - ⑬ 快適に過ごせる環境が整っている
  - ⑭ 鉄道、バスなどの公共交通機関が利用しやすい
  - ⑮ 観光、留学、技術実習などで国際化が進んでいる
10. 災害対策として必要だと思うこと（問9-①関連）
  - 1 防災教育や防災訓練の充実
  - 2 消防団のPRなどの消防団員確保対策
  - 3 住宅の耐震化、インフラ（道路、橋、ため池、ダム、排水機場など）の点検・修繕・整備
  - 4 河川の点検、河川内の堆積物や樹木の撤去
  - 5 災害時に人や物資を輸送する道路の防災対策
  - 6 ハザードマップ（浸水想定図、避難路など）の作成、防災情報の発信手段の整備
  - 7 その他（      ）
11. 安心して生活するために必要だと思うこと（問9-②関連）
  - 1 高齢者や子ども、女性等が犯罪被害に遭わないための環境づくり
  - 2 インターネットの安全な利用に関する啓発
  - 3 犯罪被害者への支援の充実と県民への理解促進
  - 4 防犯カメラの設置による犯罪発生の抑止
  - 5 交通ルールの浸透や状況の変化に即した規制などの交通安全対策
  - 6 麻薬・覚醒剤乱用防止運動などの違法薬物への対策
  - 7 出前講座や消費生活相談窓口の充実などの消費者被害対策
  - 8 食品表示の適正化、「生産、処理、加工、流通、販売」の情報開示など食品の安全確保
  - 9 水道、工業及び農業用水の安定的供給
  - 10 その他（      ）
12. 出産・子育てのために必要だと思うこと（問9-③関連）
  - 1 人材・施設の確保や時間外保育への支援など子育てを支えるサービスの充実
  - 2 出会いや結婚支援の推進
  - 3 人工受精、不妊治療（体外受精・顕微授精）費用の助成
  - 4 従業員の子育てを応援する企業・事業所を増やす取組み
  - 5 男性の育児休業取得のための支援
  - 6 インターネット上の有害な情報から青少年を守る取組み
  - 7 「男は仕事、女は家庭（家事・育児・介護など）」といった役割分担意識を無くす
  - 8 その他（      ）
13. 子どもたちの教育のために必要だと思うこと（問9-④関連）
  - 1 学習指導法の改善など教師の指導力向上
  - 2 学校・家庭・地域の連携による家庭学習の充実
  - 3 地域の人材や資源を活用した体験活動、ボランティア活動、職場体験学習などの推進
  - 4 問題を抱える生徒や保護者、教職員への支援体制の整備
  - 5 いじめ防止対策に関する指導体制・組織の充実
  - 6 海外への興味関心の喚起、海外留学等への支援による語学力向上や異文化理解の推進
  - 7 特別支援教育の充実
  - 8 ICT利活用教育の推進に向けた機器等の整備、効果的な活用推進

- 9 私立学校の振興支援
- 10 その他（ ）
14. 暮らしやすい社会のために必要だと思うこと（問9-⑥関連）
- 1 生活困窮者やひとり親家庭などの自立支援
  - 2 高齢者などの社会活動への参加を促す介護予防の推進
  - 3 人材や施設の確保など高齢者や障害者などへの支援を行う福祉施設の環境整備
  - 4 認知症の人とその家族の支援体制の整備
  - 5 自殺防止に係る相談員の育成など相談体制の強化
  - 6 障害者や高齢者などへの理解促進など人権に関する学習機会や情報の提供
  - 7 児童虐待の発生を未然に防ぐ取組み
  - 8 子どもの貧困対策
  - 9 誰もが仕事や趣味などを通して活躍できる環境づくり
  - 10 ユニバーサルデザインに配慮した誰もが使いやすい建物、道路、交通機関などの整備
  - 11 配偶者などからの暴力（DV）に関する予防教育の推進
  - 12 その他（ ）
15. 健康的な生活をおくるために必要だと思うこと（問9-⑥関連）
- 1 「特定検診」や「がん検診」の受診促進など病気の早期発見への取組み
  - 2 食育の推進、ロコモ予防、運動習慣の定着、受動喫煙防止対策などの健康づくり
  - 3 がんの発生防止対策及び発症者の就職相談などの生活支援
  - 4 感染症を予防する生活習慣の啓発や予防接種を受けやすい環境づくり
  - 5 救命救急や新生児集中治療室など高度な医療を提供する病院の確保充実に対する支援
  - 6 医療や介護を自宅で受けられる体制の整備
  - 7 医療従事者（医師・看護師）の育成・確保
  - 8 医薬品などに関する正しい知識の普及啓発、情報発信や災害時などに必要な薬の備蓄
  - 9 重複・頻回受診、重複投薬の解消など医療費が過大とならないような取組み
  - 10 その他（ ）
16. 環境保全のために必要だと思うこと（問9-⑦関連）
- 1 地球温暖化対策の関心を高めるための広報啓発
  - 2 大気環境や水質等の常時監視、工場・事業所等への立入検査
  - 3 下水道、浄化槽の整備促進
  - 4 優れた自然環境や生態系を有する地域の適切な保全
  - 5 ごみ減量化に関する普及啓発
  - 6 産業廃棄物の処理に関する監視指導の強化
  - 7 環境への負担が少ない再生可能エネルギーや燃料電池などの普及促進
  - 8 その他（ ）
17. 農林水産業の振興のために必要だと思うこと（問9-⑧関連）
- 1 佐賀ならではの優れた農林水産物の情報発信・品質向上・販売競争力の強化
  - 2 農林水産業への新規就業者を確保・育成する体制の整備
  - 3 耕作放棄地の発生防止や再生利用の推進
  - 4 特産物づくりの推進
  - 5 生産・加工・流通の一体化（六次産業化）や農泊など農村ビジネスの取組み拡大
- 6 間伐や広葉樹植栽等の森づくり及び高性能林業機械の導入や担い手の育成
- 7 その他（ ）
18. 商工業・サービス業の振興のために必要だと思うこと（問9-⑨関連）
- 1 ものづくり人材の育成、技能・技術の磨き上げ
  - 2 企業誘致などによる雇用の創出
  - 3 障害者や子育て中の方などへの就職支援
  - 4 労働時間の短縮など働きやすい環境づくり
  - 5 クリエイティブ関係（IT、アプリ、デザイン、動画制作など）の人材・企業の支援
  - 6 新規出店や、ICTを活用した販売に挑戦する事業者への支援
  - 7 県内伝統工芸品の情報発信・販路開拓の支援
  - 8 その他（ ）
19. 佐賀県のイメージアップに必要だと思うこと（問9-⑩関連）
- 1 「佐賀牛」、「さがびより」、「佐賀海苔」など県産品のブランド力向上
  - 2 テレビや新聞などのマスメディア、ICTなどを活用した積極的な情報の発信
  - 3 県産品に関する商談会やフェアの開催、全国見本市への出店の支援
  - 4 海外の輸入卸売業者や海外事務所と連携した海外販売促進活動
  - 5 企業やアニメ・ゲームなどとのコラボによる商品開発など佐賀県の魅力の創出・発信
  - 6 福岡都市圏のメディアを有効に活用した情報発信の強化
  - 7 その他（ ）
20. 文化や芸術に親しむために必要だと思うこと（問9-⑪関連）
- 1 文化活動（地域のサークル活動など）の活性化
  - 2 諸外国との異文化交流の促進
  - 3 展覧会や音楽フェスなどをはじめとした魅力ある文化イベントの開催
  - 4 子どもたちが身近な文化に触れる機会の創出
  - 5 工芸や芸能などの地域の伝統文化を次世代へつなぐ取組み
  - 6 肥前陶磁文化などの地域の資源を生かした交流やツーリズムの促進
  - 7 佐賀県を舞台とした映画、ドラマの県内ロケ、小説等の制作を誘致する活動
  - 8 遺跡や建造物等の文化財に触れ合える場所の整備
  - 9 その他（ ）
21. スポーツを楽しむために必要だと思うこと（問9-⑫関連）
- 1 スポーツ活動（地域のサークル活動など）の活性化
  - 2 トップレベルのスポーツイベント等の誘致・開催
  - 3 スポーツキャンプ・合宿の誘致
  - 4 スポーツ施設などの利便性・機能性の向上
  - 5 スポーツ観戦者などを観光へ結びつける取組み
  - 6 さが桜マラソンなど、参加型スポーツイベントの誘致・開催
  - 7 プロスポーツを活用した佐賀県の情報発信
  - 8 オリンピックなどの日本代表を目指す選手の支援・育成
  - 9 その他（ ）
22. 住みやすい地域のために必要だと思うこと（問9-⑬関連）
- 1 他県からの移住促進や移住希望者に対するきめ細かな対応
  - 2 地域資源を活かした魅力のあるまちづくり

- 3 危険な空き家の除却や空き家の利活用の推進
  - 4 歴史的なまちなみの保全や条例に違反した屋外広告物の是正などの良好な景観づくり
  - 5 図書館の整備、生涯学習の充実など学び続けることのできる環境づくり
  - 6 CSO（NPO 法人など）と県の協働（共催、事業協力など）による公共サービスの向上
  - 7 その他（ ）
23. 鉄道、バスなどの交通について必要だと思うこと（問9-⑭関連）
- 1 交通が不便な地域でのコミュニティバス、乗合タクシー運行などの移動手段確保
  - 2 路線バスや鉄道、離島航路など公共交通の利便性（本数、低床バスの導入など）の向上
  - 3 九州佐賀国際空港から関西圏や台湾など東アジアへのLCC等の誘致
  - 4 リムジンタクシー・レンタカーなど九州佐賀国際空港へのアクセスの充実
  - 5 新幹線の開業効果を県全域に波及させるための取り組み
  - 6 国道や自動車専用道路などの広域幹線道路の整備促進
  - 7 外国のクルーズ船の誘致や貨物取扱量の増加など港湾機能の強化・充実
  - 8 その他（ ）
24. 国際化のために必要だと思うこと（問9-⑯関連）
- 1 「食」や「体験」など観光資源の発掘・魅力の向上
  - 2 外国語対応のコールセンターの整備や Wi-Fi、電子決済等、多言語表記の推進
  - 3 接客のマナーアップなど観光客をもてなす気運の向上
  - 4 観光客誘致のための積極的なセールスプロモーション
  - 5 生活習慣や文化の違いについて外国人への理解を深める取り組み
  - 6 外国人と地域住民との交流を促す場の提供
  - 7 県内で生活している外国人が日本語を学ぶ場の提供
  - 8 県内で生活している外国人が悩みを相談することができる多言語対応窓口の設置
  - 9 その他（ ）